

平成28事業年度

決算報告書

独立行政法人海技教育機構

平成28事業年度 決算報告書

(単位:円)

区 分	海技教育の実施				研究の実施			
	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考
収入								
運営費交付金	5,664,763,000	5,664,763,000	0		334,080,000	334,080,000	0	
施設整備費補助金	78,814,000	72,935,364	5,878,636		0	0	0	
受託収入	0	0	0		2,451,000	2,750,000	-299,000	(5)
業務収入	933,472,000	890,935,086	42,536,914		0	1,000,000	-1,000,000	(6)
計	6,677,049,000	6,628,633,450	48,415,550		336,531,000	337,830,000	-1,299,000	
支出								
業務経費	2,183,961,000	2,355,373,764	-171,412,764		13,629,000	7,145,344	6,483,656	(7)
施設整備費	78,814,000	70,583,134	8,230,866	(4)	0	0	0	
受託経費	0	0	0		2,451,000	3,406,818	-955,818	(8)
一般管理費	0	0	0		0	0	0	
人件費	4,414,274,000	4,422,003,055	-7,729,055		320,451,000	303,023,845	17,427,155	
計	6,677,049,000	6,847,959,953	-170,910,953		336,531,000	313,576,007	22,954,993	

区 分	成果の普及・活用促進				法人共通				合計			
	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考	予算額	決算額	差 額	備 考
収入												
運営費交付金	181,645,000	181,645,000	0		1,225,427,000	1,225,427,000	0		7,405,915,000	7,405,915,000	0	
施設整備費補助金	0	0	0		0	0	0		78,814,000	72,935,364	5,878,636	
受託収入	24,641,000	23,126,183	1,514,817		0	0	0		27,092,000	25,876,183	1,215,817	
業務収入	0	0	0		0	3,918,423	-3,918,423	(4)	933,472,000	895,853,509	37,618,491	
計	206,286,000	204,771,183	1,514,817		1,225,427,000	1,229,345,423	-3,918,423		8,445,293,000	8,400,580,056	44,712,944	
支出												
業務経費	9,044,000	6,942,468	2,101,532	(7)	0	0	0		2,206,634,000	2,369,461,576	-162,827,576	
施設整備費	0	0	0		0	0	0		78,814,000	70,583,134	8,230,866	
受託経費	24,641,000	22,434,771	2,206,229	(9)	0	0	0		27,092,000	25,841,589	1,250,411	
一般管理費	0	0	0		389,986,000	236,206,047	153,779,953	(7)	389,986,000	236,206,047	153,779,953	
人件費	172,601,000	162,366,902	10,234,098		835,441,000	777,875,416	57,565,584	(10)	5,742,767,000	5,665,269,218	77,497,782	
計	206,286,000	191,744,141	14,541,859		1,225,427,000	1,014,081,463	211,345,537		8,445,293,000	8,367,361,564	77,931,436	

(注) 損益計算書の計上金額と決算金額の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に表示している業務費、一般管理費は予算区分上、決算報告書の業務費、一般管理費と一致しません。
- (2) 人件費は、損益計算書においては業務費、一般管理費に含めて表示しています。
- (3) 損益計算書に表示している財務費用は、決算報告書の業務経費に計上しています。
- (4) 施設整備費案件について、交付金による前払を行ったため。
- (5) 受託契約単価が増加したため。
- (6) 共同研究に係る経費分担金受領のため。
- (7) 業務効率化等によるため。
- (8) 受託研究業務が増加したため。
- (9) 受託業務が減少したため。
- (10) 職員給与の支給実績が少なかったこと等のため。